

令和3年度予算案の主な事業

	ページ
(●は新規事業)	
1 RPAの導入推進	1
2 キャッシュレス決済の導入	2
● 3 デジタル行政窓口の整備	3
● 4 AIチャットボットの導入	4
● 5 テレワークの導入	5
6 東京オリンピック・パラリンピック大会推進	6
7 聖火リレー	7
8 災害対策本部機能の充実	8
9 世界文化遺産継承	9
10 子供育成活動支援	10
11 在宅要介護者等受入体制整備	11
12 講演会シリーズ「江戸から学ぶ」／江戸をたずねる	12
13 障害者アーツ	13
14 浅草文化観光センター運営	14
15 墨田区との連携推進	15
16 新しい日常取組店舗応援	16
17 経営相談	17
18 商店街共同売出し事業支援	18
19 利子及び信用保証料補助	19
20 特別養護老人ホーム等新規入所者PCR検査	20
21 特別養護老人ホーム「浅草」大規模改修	21
22 (仮称) 竜泉二丁目福祉施設整備	22
23 介護・障害福祉サービス等事業者支援	23
24 生活困窮者自立支援	24
25 感染症対策用資材備蓄	25
26 患者発生時防疫措置	26
27 産後ケア	27
28 花の心プロジェクト	28
● 29 学校園等情報配信システム	29
30 小・中学校ICT教育の推進	30
31 私立幼稚園・こども園・保育所等感染症対策補助	31
32 教育支援館運営	32
33 アスリートから学ぶLet's Enjoyスポーツ	33

1 R P Aの導入推進

予算額 4, 1 2 9 万円

背景

多様化する区民ニーズに迅速かつ的確に対応するためには、行政運営にデジタル技術を活用し、業務の効率化を図ることが求められている。

目的

R P AやA I - O C Rを活用して業務を自動化し、定型的業務の時間を削減することで、より創造性が求められる業務やコミュニケーションを重視した業務の充実等を図り、区民サービス及び業務効率の向上につなげる。

※R P A

人間が行う定型的なパソコン操作を自動化するソフトウェアのロボット

※A I - O C R

A I 技術により紙帳票を高い精度で文字データ化するソフトウェア

事業概要

●R P Aの開発・運用

B P R（業務フローの見直しや見える化）を行った上で、新たに5業務の開発・運用を実施する。並行して令和2年度までに開発した6業務を運用する。

●A I - O C Rの導入検証

申請書等の紙帳票の文字データ化について検証するとともに、R P Aとの連携によるさらなる業務の自動化について検証する。

●R P A等の内製化に向けた取組み

R P A等の内製化に向けて庁内推進体制を強化する。

スケジュール

令和3年度 5業務のR P A開発・運用、A I - O C R導入検証
庁内推進体制の強化

令和4年度～ 庁内推進体制による運用、R P A等導入推進

問い合わせ 情報政策課 電話：5 2 4 6 - 9 0 2 1

2 キャッシュレス決済の導入

予算額 2,367万円

背景

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、区役所業務の変革を一層推進するため、キャッシュレス決済の導入を加速させる必要がある。

目的

窓口での現金払いについて、現金以外の決済手段を導入することで、利便性向上及び事務の効率化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、来庁機会の削減や接触機会の低減を実現する。

事業概要

●窓口へのキャッシュレス決済端末の導入

各種証明書発行に伴う手数料や会議室の施設使用料などの支払いについて、クレジットカードや電子マネー等の決済に対応する。

■対象施設 区民事務所、文化施設、その他公共施設の窓口 28か所

●公共施設予約システムへのクレジットカード決済の導入

会議室等の施設使用料の支払いについて、オンラインでのクレジットカード決済に対応する。

■対象施設 公共施設予約システムで管理する28施設

スケジュール

令和3年	3月	本庁舎（税、戸籍証明手数料等）、保健所（各種手数料）、中央図書館（グッズ販売）の窓口キャッシュレス決済サービスを導入
	6月	区民事務所（証明手数料）、文化施設（入館料）等の窓口キャッシュレス決済サービスを順次導入
	12月	施設使用料について、公共施設予約システム上でのクレジットカード決済や、施設窓口でのキャッシュレス決済サービスを導入（※）

（※さらなる利便性の向上や事務の効率化を図るため、導入時期を当初予定の5月から変更）

問い合わせ 情報政策課 電話：5246-9021

●3 デジタル行政窓口の整備

予算額 2,644万円

背景

情報通信技術の目覚ましい発展、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に社会全体において、デジタル技術を活用して暮らし方や働き方を変革するデジタル・トランスフォーメーションが急速に進んでいる。

目的

区民が窓口において、待たずに、書かずに申請できるスマート窓口の整備を進め、窓口での混雑緩和や来庁時の負担軽減を図るとともに、オンラインによる申請手続を拡大して、来庁機会の削減につなげる。

事業概要

●スマート窓口の整備

来庁前に、利用者がスマートフォン等で申請情報を入力・コード化したものを、窓口で読み取り受付けることで、来庁時の待ち時間削減を図る。また、窓口タブレット等を設置して、端末を活用した情報入力により申請書の記入負担を軽減する。

(区役所1階の住民票の写し・戸籍証明等発行窓口にて実施予定)

●電子申請対象手続の拡大

手数料等が発生する行政手続についてオンライン上で決済可能な仕組みを導入するなど、電子申請の対象手続を拡大して来庁機会の削減につなげる。

スケジュール

令和3年度 スマート窓口構想策定

令和4年度 窓口等の環境構築、運用開始

※電子申請対象手続の拡大は継続的に実施

問い合わせ 情報政策課 電話：5246-9021

●4 AIチャットボットの導入

予算額 1,111万円

背景

多様化する区民ニーズに迅速かつ的確に対応するためには、行政運営にデジタル技術を活用し、業務の効率化を図ることが求められている。

目的

AIを活用して、区民からの問い合わせに24時間・365日対応可能とすることで、区民サービスの向上及び問い合わせ対応の効率化を図る。

事業概要

区では、令和2年6月から区公式ホームページ上において、新型コロナウイルス感染症対策に特化した「新型コロナウイルス相談チャット」を運用している。

令和3年度は、より機能や利便性の優れた新たなAIチャットボットを導入し、区政の様々な分野に関する問い合わせに対し24時間・365日対応可能な体制の構築を目指す。

※AIチャットボット

AI技術を活用して質問に対してより適切な回答を提示するチャットボット
(文字による会話形式の応答プログラム)

スケジュール

令和3年4月～ 新AIチャットボットの構築

令和3年10月 新AIチャットボットの運用開始

問い合わせ 情報政策課 電話：5246-9021

●5 テレワークの導入

予算額 1,679万円

背景

国や東京都から、人と人との接触機会を減らすことにより、新型コロナウイルス感染症への感染リスクの低減や感染拡大を防止するため、テレワークの実施が要請されている。

目的

感染症のまん延防止のための出勤抑制による在宅勤務など、非常時における行政機能の維持及び業務継続性を確保するとともに、平時における柔軟で多様な働き方の推進を図る。

事業概要

貸出用パソコンを使用し、自宅から庁舎内のパソコンを遠隔操作（リモートコントロール）できる環境を整備する。

スケジュール

令和3年4月 検証・試行開始

令和3年7月 運用開始

問い合わせ 人事課 電話：5246-1060

6 東京オリンピック・パラリンピック大会推進

予算額 3,136万円

背景

延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、開催年を迎え、台東区においても開催都市の一員として大会準備を進めている。

目的

大会開催に向けて、区民や来街者に対し、機運醸成を図る。また、大会後のレガシーとしての取組みを実施していく。

事業概要・**スケジュール**

●循環バスめぐりんへのラッピングの実施

区内を走行する循環バスめぐりん（全22台）の車体にラッピングを行い、めぐりんの利用者や来街者に対し、機運醸成を図る。

■実施時期 令和3年6月上旬～9月上旬

●オリジナルマスクの作成・配布

オリジナルマスクを作成し、区立小中学校の児童・生徒及び区大会関連ボランティア等に配布することで、大会の機運醸成の一助とするとともに、レガシーの創出につなげる。

■配布時期 令和3年7月上旬～9月上旬

●レガシー銘板の設置

大会の記憶となるレガシーとしての銘板を区内2か所に設置する。

■設置場所（予定）

・台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場

※オリンピック聖火リレーの区内走行ルートの出発地点となるとともに、
出発式（令和3年7月20日（火））を実施する場所

・浅草雷門前

※パラリンピックマラソンコースの15km地点となる場所

問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック担当 電話：5246-1051

7 聖火リレー

予算額 4,650万円

背景

台東区では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、聖火リレーの実施が予定されている。

目的

聖火リレーの実施にあたり、開催が間近に迫った大会を区民及び来街者に身近に感じてもらうとともに、祝祭ムードを盛り上げる。

事業概要・スケジュール

東京都聖火リレー実行委員会が実施する区内聖火リレーの沿道警備など運営のサポートを行う。

【オリンピック聖火リレー】

●出発式

- 内容 式を盛り上げるウェルカムプログラムの開催
- 日程 令和3年7月20日（火）
- 会場 台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場

●聖火リレー

- 日程 令和3年7月20日（火）
- コース 台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場～国立西洋美術館・東京文化会館前（予定）

【パラリンピック聖火リレー】

●聖火リレー

- 日程 令和3年8月21日（土）（予定）
- コース 未定

問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック担当 電話：5246-1051

8 災害対策本部機能の充実

予算額 4,479万円

背景

令和元年の台風19号において明らかとなった課題や教訓等を踏まえ、令和2年10月に風水害情報の伝達などの事項を示した「台東区風水害対応方針」を策定した。

現在の台東区防災アプリ「台東防災」は、震災時における避難行動支援を目的に運用しており、今後は風水害に関する情報も発信していく必要がある。

また、事前の防災対策や震災時に適切な避難行動をとるには、居住地の町会を知っておくことが重要である。

目的

防災アプリを改修し、風水害時における区民への迅速かつ正確な情報発信を図る。

また、設定した居住地の町会を容易に確認できることで、地域における「共助」の力を高め、より円滑な避難行動をとれるようにする。

事業概要

●台東区防災アプリ「台東防災」の改修

■風水害時における情報発信機能の追加

機能	内容
避難施設 開設状況	水害時に開設する緊急避難場所等の避難施設の開設状況をマップ上に表示
水害ハザード マップ機能	荒川、神田川、内水氾濫及び高潮の水害ハザードマップ上で現在地の浸水深を表示
避難指示の発令 区域マップ表示	避難指示などが発令された区域（町丁目）をマップ上で表示
避難行動 フロー	自らのとるべき避難行動や適切な避難先など、風水害時の避難行動フローを対話形式により表示
緊急避難場所 常時表示	現在地から直近の緊急避難場所を常時表示
荒川氾濫 モード	荒川氾濫が想定される場合は、「浸水区域外への避難」アラートを強制表示

■居住地の町会名表示機能の追加

問い合わせ 危機・災害対策課 電話：5246-1091

9 世界文化遺産継承

予算額 478万円

背景

平成28年7月17日、国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献－」が世界文化遺産に登録された。

令和3年度は、登録されて5年目の節目となることから、周年記念事業を実施する。

目的

区民一人ひとりが世界文化遺産の価値を理解することにより、その歴史的遺産の次世代への着実な継承と、地域文化に対する愛着心の醸成を図る。また、世界文化遺産を活用し、国際文化観光都市としての本区の魅力を高めていく。

事業概要・スケジュール

●記念式典

世界文化遺産登録5周年を記念する式典を開催する。

■実施時期 令和3年7月17日（土）

■会場 東京都美術館講堂

●記念講演会

国立西洋美術館の歴史やル・コルビュジエに関する講演会を開催する。

■実施時期 令和3年10月頃

●まちなみ絵画コンクール特別賞

区立小学校3年生を対象として、例年実施している絵画コンクールに、世界文化遺産登録5周年を記念した特別賞を設置し表彰する。

■実施時期 令和3年11月頃

●SNSを活用した周知・啓発

一般の方々によるSNSを通じた国立西洋美術館の情報発信を促進するキャンペーンを実施する。

■実施時期 令和3年7月～9月、令和4年1月～3月

●ル・コルビュジエに関する特別展

建築作品の模型をはじめ、家具や絵画の展示等、ル・コルビュジエの多彩な才能を紹介する特別展を開催する。

■実施時期 令和4年1月

■会場 生涯学習センターアトリウム

問い合わせ 世界遺産担当 電話：5246-1300

10 子供育成活動支援

予算額 942万円

背景

令和2年8月に実施した児童扶養手当受給者アンケートによると、約半数以上の方が学習支援、食事提供を利用したいと回答している。一方、学習支援、食事提供をそれぞれ単独で実施したい団体、個人から相談も受けているが、現状の子供育成活動支援の補助要件を満たしていないため実施に至っていない状況である。

目的

子供の居場所や地域での交流機会を増やし、孤立しがちな子供やその家庭の支援を図るため、学習支援又は食事提供を単独で実施する団体に対しても、経費の一部を助成する。

事業概要

現行の補助メニューを継続するとともに、より多くの団体が事業を実施できるように、要件緩和した新たな補助メニューを設定する。

●現行の補助メニュー

■補助限度額 150万円

■補助要件 ①～③の事業を年間を通じて実施すること

①子供が集い、交流する場の提供及び交流促進に関する事業

②学習指導及び相談、進学相談等に関する事業(週2回以上)

③栄養バランスのとれた食事を提供する事業(月2回以上)

●新たな補助メニュー

■補助限度額 48万円

■補助要件 ①・②又は①・③の事業を年間を通じて実施すること

①子供が集い、交流する場の提供及び交流促進に関する事業

②学習指導及び相談、進学相談等に関する事業(週1回以上)

③栄養バランスのとれた食事を提供する事業(月1回以上)

スケジュール

令和3年4月 審査会

令和3年5月 補助金交付決定

問い合わせ 子育て・若者支援課 電話：5246-1231

11 在宅要介護者等受入体制整備

予算額 1,927万円

背景

在宅で高齢者・障害者を介護する家族や児童を養育する家族等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合に、要介護者や児童の生活支援が必要である。

目的

在宅で高齢者・障害者を介護する家族や児童を養育する家族等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合でも、要介護者や児童の生活が継続でき、感染した家族が安心して療養に専念できる環境を整える。

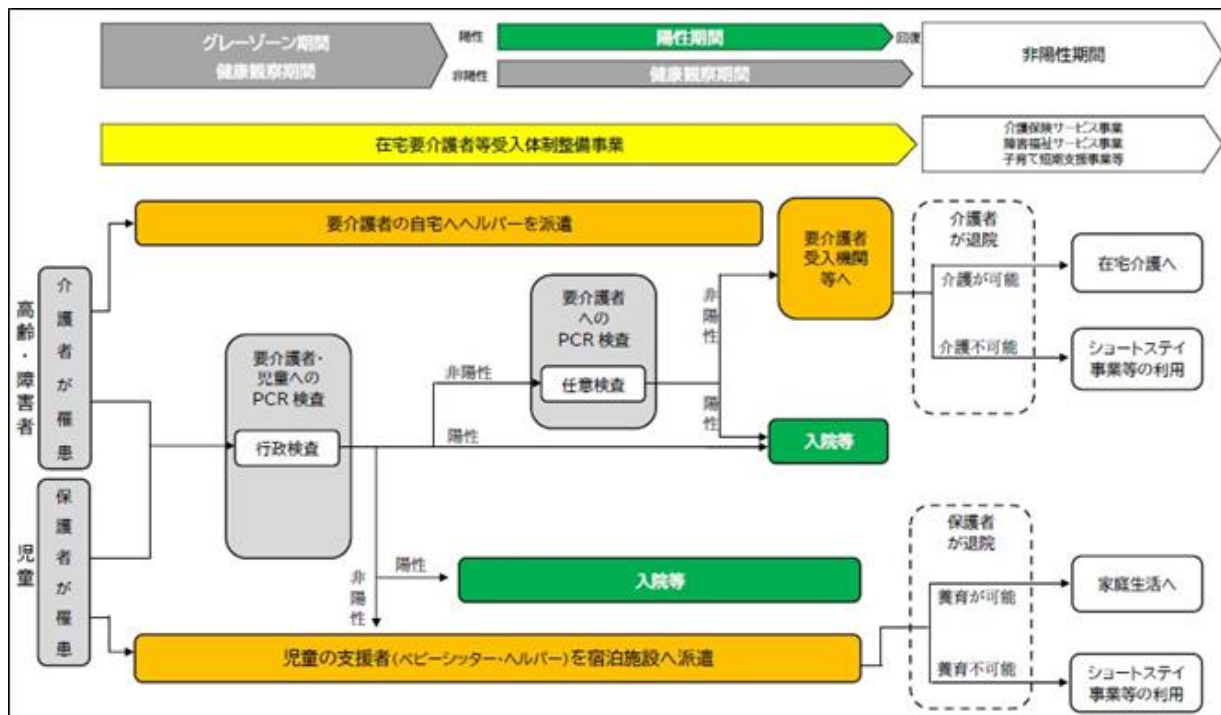
事業概要

● 高齢者・障害者

- 要介護者の自宅へヘルパーを派遣
- 要介護者を施設で受入れ

● 児童

- 東京都児童相談所による一時保護委託等ができない場合に、自宅又は区が確保した宿泊施設に、支援者（ベビーシッター・ヘルパー）を派遣
(イメージ図)



問い合わせ 子ども家庭支援センター 電話：5824-2537
 高齢福祉課 電話：5246-1220
 障害福祉課 電話：5246-1211
 保健予防課 電話：3847-9413

12 講演会シリーズ「江戸から学ぶ」／江戸をたずねる

予算額 279万円

背景

台東区には、江戸の昔から続く伝統行事や神社仏閣、名所旧跡が数々あり、まちや暮らしの中に、江戸の文化が息づいている。

本区では、江戸時代の優れた面を改めて認識し、まちに色濃く残っている魅力ある江戸文化や地域資源を発信する「江戸ルネサンス事業」を平成30年度から実施している。

目的

本区に残る江戸文化の魅力を国内外に発信することにより、区民の誇りや郷土を愛する心を育むとともに、江戸と台東区との繋がりへの理解を深める。

事業概要・**スケジュール**

「クリエイイト！江戸 活かす」をテーマに、講演会や区内の文化資源を活かしたガイドツアーを実施する。

●講演会シリーズ「江戸から学ぶ」

■実施時期 令和3年9月～令和4年2月

■内 容 連続講座、番外編「江戸の音を観る」、クロージングイベント

●江戸をたずねる

■実施時期 令和3年10月～11月

■内 容 待乳山聖天をはじめとした奥浅草の江戸ゆかりの地をめぐるガイドツアーや上野東照宮ガイドツアー

問い合わせ 文化振興課 電話：5246-1145



13 障害者アーツ

予算額 316万円

背景

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、障害者の文化・芸術活動への参画を支援するとともに、障害への理解促進を図ることが期待されている。

目的

区内文化施設との連携体制の構築やアートイベントの開催を通して、障害の有無に関わらず誰もが文化・芸術活動に親しむことのできる機会を提供する。

事業概要・スケジュール

●絵画等のワークショップ

■実施時期 令和3年9月～11月

■回数 10回

■参加費 無料（事前申込制）

■内容 希望する障害者施設へ講師を派遣し、障害者を対象とするワークショップを実施

●障害のある方の作品展示会

■実施時期 令和4年3月

■実施場所 上野の森美術館

■出展料 無料

■内容 ワークショップや公募による作品の展示会を開催

問い合わせ 文化振興課 電話：5246-1145

14 浅草文化観光センター運営

予算額 1億2,888万円

背景

浅草文化観光センターは、台東区の文化・観光情報の発信拠点として4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）での観光案内や、デジタルサイネージによる分かりやすい情報発信を行うなど、世界中から訪れる観光客の利便性向上を図っている。

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に日本を訪れる多くの外国人の方に、文化体験を通じて日本文化への理解を深めていただくとともに、本区への再訪者増加につなげる。

事業概要

「和」の雰囲気を感じられる空間として設営した会場で、外国人の来館者向けに、気軽に参加できる日本文化体験イベントを実施する。

●日本文化体験イベント

- 内 容 茶道、華道、書道、折り紙（1日1種）
- 会 場 浅草文化観光センター 7階展示スペース
- 対 象 者 外国人の来館者
- 参 加 費 無料

スケジュール

令和3年7月中旬～9月中旬

問い合わせ 観光課 電話：5246-1150

15 墨田区との連携推進

予算額 231万円

背景

台東区と墨田区は、観光振興事業及びPR活動の効果的な実施のため、観光分野における連携に関する協定を、平成29年10月に締結した。

目的

両区で広域的に観光施策を展開することにより、両区の地域活性化を目指し、誘客促進や回遊性の向上を図る。

事業概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時に来日する世界各国の報道関係者向けに、台東区と墨田区ならではの観光資源を紹介する文化体験ツアーを行い、新型コロナウイルス感染症の収束後の観光客誘致に向けたプロモーション及び海外映像制作者との関係構築を行う。

- 両区の歴史と文化をテーマとした体験型観光ツアー（2日間）
- ドラマ・映画等の撮影場所として人気が高いロケ地のPR等

スケジュール

令和3年4月以降 報道関係者への告知
令和3年8月中旬 文化体験ツアー開催

問い合わせ 観光課 電話：5246-1150

16 新しい日常取組店舗応援

予算額 50万円

背景

区内には飲食店をはじめとした接客型の事業者が多くあり、事業を継続するためには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底したうえで、集客を図っていくことが必要となっている。

目的

感染防止に取り組む区内飲食店舗等を支援し、取組店のPRを行うことで、来街者に安心安全をアピールし、地域経済の回復の一助とする。

事業概要

令和2年度に引き続き、区内飲食店舗等に対し、感染防止に取り組む宣言書等の配布を行う。

また、感染予防講習会を開催し、感染防止に関する基本的な知識・技能を習得した「新しい日常取組推進員」の養成を通じて、区内飲食店舗等への対策の普及・啓発を図る。

●新しい日常取組店舗の周知PR

- 区内飲食店舗等に対し、店内等に掲示するための「新しい日常取組宣言書」とステッカーを配布し、感染防止の取組みや安心安全のアピールを促進
- 区公式ホームページや産業情報誌で、取組店舗を紹介

●感染予防講習会の開催

- 経営者や店長を対象とした、感染拡大防止対策促進のための講習会を開催
- 飲食店・商店街等の団体に対し、「新しい日常取組推進員」を養成するための講習会を開催

スケジュール

令和3年4月～9月 感染予防講習会の開催

問い合わせ 産業振興課 電話：5246-1196

17 経営相談

予算額 3,987万円

背景

新型コロナウイルス感染症により、区内中小企業には売上や販売・受注の減少などの深刻な影響が出ている。先行き不透明な中、事業活動の休止や縮小を余儀なくされる事業所もあり、厳しい経営状況に置かれている。

目的

経営環境の変化に対応していくため、新たな事業展開や事業承継などの経営問題を抱えている区内中小企業や、国・都などの支援策の利用を希望する区内中小企業に対する相談体制を充実し、早期解決に向けた支援を行う。

事業概要

中小企業診断士による「特別相談窓口」や「緊急経営相談ダイヤル」を設置し、充実した相談体制を継続する。

●特別相談窓口（年末年始、祝日を除く）

■日 時 月曜日～金曜日 10時～16時

■場 所 台東区中小企業振興センター（台東区小島2-9-18）

●緊急経営相談ダイヤル（年末年始、祝日を除く）

■日 時 火曜日 10時～15時／木曜日 15時～19時

■電話番号 5829-8078

問い合わせ 台東区産業振興事業団 電話：5829-4121

18 商店街共同売出し事業支援

予算額 1,998万円

背景

新型コロナウイルス感染症の影響により、区内商店街等は集客や売上が大きく減少するなど厳しい状況となっている。

目的

商店街等が共同で実施する売出し事業への支援を通じて、区内消費を喚起し、地域経済の活性化を図る。

事業概要

台東区商店街連合会が区内商店街等と共に実施する中元期及び歳末期の売出し事業について、令和3年度は規模を拡大して実施することから、助成限度額及び助成率の引き上げを行う。

- 主 催 台東区商店街連合会
- 名 称 ふれあい下町大バザール
- 実施時期 中元期（8月～9月）・歳末期（12月～1月）
- 内 容 参加店舗での購入金額に応じて抽選券を配布し、当選者に区内企業から調達した景品を贈呈する。
- 助 成 率 9／10（令和2年度は2／3）

スケジュール

令和3年8月～9月 ふれあい下町大バザール（中元期）
令和3年12月～令和4年1月 ふれあい下町大バザール（歳末期）

問い合わせ 産業振興課 電話：5246-1196

19 利子及び信用保証料補助

予算額 7億9,515万円

背景

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、依然として区内中小企業は厳しい経営状況に置かれている。

目的

感染症の影響を受けた区内中小企業の資金繰りを支援し、経営の安定化を図る。

事業概要

令和2年6月にあっ旋を開始した台東区経営持続化特別資金の受付期間を延長し、引き続き、信用保証料や利子の補助を行うことで、感染症の影響を受ける区内中小企業の経営の安定化を図る。

- 融資限度 500万円以内
- 貸付期間 8年以内（うち据置期間は12か月以内）
- 貸付金利 2.0%以内（本人負担ゼロ）
- 信用保証料 全額補助

スケジュール

令和3年9月まで延長

問い合わせ 産業振興課 電話：5246-1196

20 特別養護老人ホーム等新規入所者PCR検査

予算額 1,320万円

背景

介護サービス及び障害福祉サービス等は、利用者やその家族の生活を継続する上で欠かせないものである。その中で特別養護老人ホーム等は、利用者の生活の場であり、新型コロナウイルス感染症患者が発生しても、停止することができないサービスである。このため、感染症対策を徹底する必要がある。

目的

区内の特別養護老人ホームの入所予定者等にPCR検査を行い、当該施設内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する。

事業概要

下記施設への入所予定者等に対しPCR検査を実施する。

- 特別養護老人ホーム（9施設）
- 認知症対応型グループホーム（8施設）
- 知的障害者入所施設（1施設）
- 知的障害者グループホーム（17施設）
- 身体障害者グループホーム（2施設）
- 精神障害者グループホーム（2施設）

問い合わせ 高齢福祉課 電話：5246-1220

21 特別養護老人ホーム「浅草」大規模改修

予算額 8億2,214万円

背景・目的

昭和62年4月開設の特別養護老人ホーム浅草は築34年を迎え、設備等の老朽化が進んでいることから、更新を行うとともに入居者の居住環境の向上を図る。

事業概要

給排水及び空調設備等の更新を行う。また、入居者の要介護度の重度化に対応し、個々の状況に合わせたケアを提供できるよう、居住環境の向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症への対応を強化する。

●主な改修内容

- 給排水・空調設備等工事
- 一人当たりの居室面積拡大
- トイレ・入浴設備の増設
- 高齢者在宅サービスセンター利用者等と施設入居者の動線分離
- 手洗い場の充実
- 自家発電装置の能力増強

スケジュール

令和2年5月～令和3年2月	実施設計
令和3年7月～令和4年7月	大規模改修工事
令和4年11月	施設再開

問い合わせ 高齢福祉課施設整備担当 電話：5246-9026

22 (仮称) 竜泉二丁目福祉施設整備

予算額 2億5,980万円

背景

台東区は他自治体に先駆けて区立特別養護老人ホームを整備したため、施設の更新時期を迎えている。

更に、入所者の要介護度の重度化や身体状況の変化、プライバシー意識の高まりにより、入所者に必要な居住環境が変化している。

また、後期高齢者人口の増加により、要介護認定者や認知症高齢者の増加が見込まれている。

目的

区立特別養護老人ホーム三ノ輪・蔵前・千束の再編成を行い、区内特別養護老人ホーム入所定員数の充実及び居住環境の向上を図る。

また、介護予防や認知症高齢者への支援など、高齢者福祉施策の充実を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築する。

事業概要

旧竜泉中学校（竜泉二丁目10番6号）の跡地に、区立特別養護老人ホームや、高齢者福祉施策の充実を図る施設を整備するとともに、こどもクラブや地域での活動に活用できるスペース等を整備する。

令和3年度は、引き続き設計を進めるとともに、校舎等解体工事に着手する。

スケジュール

令和元年4月～令和2年2月	整備計画策定
令和2年4月～令和4年6月	基本・実施設計
令和3年4月～令和4年8月	校舎等解体工事
令和4年度～令和6年度	建設工事
令和6年度	開設

問い合わせ 高齢福祉課施設整備担当 電話：5246-9026

23 介護・障害福祉サービス等事業者支援

予算額 1,590万円

背景

介護サービス及び障害福祉サービス等は、利用者やその家族の生活を維持する上で欠かせないものである。

このため、各サービス事業者においては、マスクや手指消毒用アルコールなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じつつ、利用者に対して必要な各種サービスを提供することが必要である。

目的

区民が安心して各種サービスを利用できるよう、感染拡大防止対策に取り組む事業者の負担増を軽減し、サービス基盤体制の維持を図る。

事業概要

高齢者や障害者に直接サービスを提供する区内の事業者に対し、感染症対策用品の備蓄経費を助成する。

- 助成上限額 1事業者あたり10万円
- 補助率 10/10
- 補助対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- 対象品目 マスク・ゴーグル・手指消毒用アルコール・介護用手袋等

問い合わせ 介護保険課 電話：5246-1241

障害福祉課 電話：5246-1211

保健予防課 電話：3847-9413

24 生活困窮者自立支援

予算額 1億5,817万円

背景

生活保護に至る前の段階の自立支援策を強化するため、平成27年度から、生活困窮者に対して自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給及びその他の支援を行ってきた。

令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応として、住居確保給付金の支給対象が拡大され、個人の責に帰すべき理由によらない休業等の影響で収入減となり、離職・廃業と同程度の状況にある方も支給対象となった。

目的

支援を通じた地域づくりにより、生活困窮者の自立と尊厳を確保する。

事業概要

生活困窮者へ適切に「住居確保給付金」を支給するため、引き続き十分な受付・相談体制により取り組むとともに、必要な支援を行っていく。

問い合わせ 保護課 電話：5246-1180

25 感染症対策用資材備蓄

予算額 121万円

背景

新型コロナウイルス感染症をはじめ、今後も感染症が発症・流行した際には、感染拡大防止対策を迅速に行う必要がある。そのため、感染症対策用資材を十分に備蓄することが必要不可欠となっている。

目的

感染症の発生時や流行時において備蓄品を活用することで、感染拡大の防止を図る。

事業概要

これまでの新型インフルエンザ等感染症対策で備蓄していた資材等を更新するとともに、PCRセンター運営に必要な資材について購入する。

●更新資材

- アルコール綿 800包
- 抗インフルエンザ薬 90人分

●PCRセンター運営資材

- 発電機用ガソリン缶 36リットル
- 消毒・搬送用資材 1式

問い合わせ 生活衛生課 電話：3847-9419

26 患者発生時防疫措置

予算額 2億591万円

背景

新型コロナウイルス感染症から区民の生命と健康を守るため、引き続き、検査体制や患者対応体制を確保し、感染症対策の取り組みを推進していく必要がある。

目的

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症について、発生予防の措置及び発生時の防疫措置を講じることで、感染拡大の防止を図る。

事業概要

- 発熱受診相談センターの運営
- PCRセンターの運営
- 積極的疫学調査の実施
- 入院医療費の公費負担 等

問い合わせ 保健予防課 電話：3847-9413

27 産後ケア

予算額 4,368万円

背景

令和3年4月に施行される改正母子保健法で、区市町村に対し、産後ケア事業の実施について努力義務が規定される。

目的

産後の母子に対し、母親の身体回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族がすこやかな育児ができるよう支援する。

事業概要

法改正の趣旨を受け、産後の休養等を目的とする「宿泊型」に「デイサービス型」を追加し、乳房ケア等を目的とする「外来型」に「アウトリーチ型」を追加する。また、「乳房ケア事業」の対象を出産後4か月未満から1年未満に延長する。

●宿泊型及びデイサービス型

出産後4か月未満の母子を対象に、区が委託する産科医療機関や助産所において、産後の休養と助産師等による心身のケアや育児サポート等の支援を宿泊または日帰りで実施する。

●外来型及びアウトリーチ型乳房ケア

出産後1年未満の母子を対象に、区が委託する産科医療機関や助産所の助産師等が乳房トラブルを解消するとともに心身のケアや育児サポート等の支援を施設または居宅への訪問で実施する。

問い合わせ 保健サービス課 電話：3847-9441

28 花の心プロジェクト

予算額 1億700万円

背景

台東区では、平成28年4月に「花の心 たいとう宣言」を行い、「花の心プロジェクト」を推進している。

目的

花を慈しむ心や思いやりとおもてなしの心をもって、花でまちを飾り、「花の心」の普及を図ることで、心豊かでうるおいのあるまち台東区を世界にアピールする。

事業概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、浅草文化観光センターや区内の鉄道駅等における花の装飾など、花によるおもてなしを行う。

また、引き続き、「花の心プロジェクト」の推進に向け、区有施設における花壇の維持管理や、「花の心フラワーサポーター」への支援等を行う。

【主な取組み】

- 普及啓発
 - 花の心プロジェクト推進協議会の運営
 - 花の心ハンギングバスケットの実施（雷門周辺）
 - 花とみどりの講習会の実施（ハンギングバスケットの作成等）
 - 東京2020大会に合わせた花による装飾の実施
 - ・浅草文化観光センター、区内8駅
- 花の心フラワーサポーターへの支援
- 区有施設の花壇の維持管理
 - 庁舎、区民館、生涯学習センター、区立全小中学校 等
- 公園等の花壇の維持管理
 - 駒形橋ポケットパーク、防災広場初音の森 等
- 区道の花壇の維持管理
 - 左衛門橋通り、並木通り「おもてなしの庭」 等

問い合わせ 環境課 電話：5246-1280

●29 学校園等情報配信システム

予算額 771万円

背景

学校園等から保護者への緊急の連絡について、これまでの防犯、行事・通学時間変更などの連絡のほか、新型コロナウイルス感染症による患者の発生や臨時休業などの連絡も加わっており、これを正確かつ迅速に伝達する必要性が高まっている。

目的

教育委員会及び学校園等からの緊急連絡等を、保護者へ速やかに一斉に情報配信する。

事業概要

学校園等と保護者間の緊急連絡やお知らせ、出欠席等の連絡手段をデジタル化し、迅速に連絡できる体制を構築する。

●対象

区立の小学校、中学校、幼稚園、こども園、保育所、こどもクラブ及び放課後子供教室

スケジュール

令和3年5月 運用開始

問い合わせ 教・庶務課 電話：5246-1401

30 小・中学校 I C T教育の推進

予算額 7億2,273万円

背景

小学校は令和2年度から、中学校においては令和3年度から全面実施される新学習指導要領において、児童・生徒の情報活用能力の育成が求められている。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休業や今後の再拡大に備え、令和2年度に I C T教育の環境整備を加速化し、1人1台タブレットパソコンの整備を行った。

今後、タブレットパソコンをはじめとした I C T機器を授業や家庭学習において有効に活用することが求められている。

目的

I C T教育を推進することで児童・生徒の情報活用能力の育成を図る。

事業概要・**スケジュール**

● I C T機器の活用

1人1台タブレットパソコンをはじめとした I C T機器を活用した授業を展開するとともに、家庭学習においてもタブレットパソコンの活用を推進する。

● 教員への支援

教員を対象に、研修や I C T支援員の訪問サポート等を行い、授業での I C T機器の活用を支援する。

● 「台東区学校教育情報化推進計画」の策定

学校教育の情報化の推進に関する法律に基づき、学校における教育の情報化推進のため「台東区学校教育情報化推進計画」を令和3年度末までに策定する。

問い合わせ 教育改革担当 電話：5246-1454

31 私立幼稚園・こども園・保育所等感染症対策補助

予算額 6,246万円

背景

教育・保育施設において、新型コロナウイルス感染症に対する体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続することが求められている。

また、感染予防対策に係る費用や業務量の増加が事業者の負担となっている。

目的

感染症対策を実施する事業者の負担を軽減し、継続的に事業が実施できるよう支援する。

事業概要

感染症対策に係る物品や人件費等の経費を補助する。

●補助対象施設

私立幼稚園・こども園・保育所等

●補助内容

補助率：10/10

補助上限額

施設定員	補助上限額
19人以下	30万円
20人以上59人以下	40万円
60人以上	50万円

問い合わせ 教・庶務課 電話：5246-1401

学務課 電話：5246-1410

児童保育課 電話：5246-1238

32 教育支援館運営

予算額 1億226万円

背景

経済の状況や社会の急激な変化などの影響を受け、子供を取り巻くいじめ、不登校、虐待、貧困等の問題が深刻化する中、学校においては、問題を解決するために様々な対応策を考え取り組んでいる状況にあるが、学校のみでの解決するには困難な事案が数多く発生している。

目的

子供が置かれた環境面における諸問題の未然防止及び早期発見、早期解決を図る。

事業概要

教育の分野に加え社会福祉に関する専門的な知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーを増員し、問題を抱えた子供に対し、当該の子供が置かれた環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて問題解決への対応を行う。

●体制 スクールソーシャルワーカー2名を増員し、4名体制とする。

●内容 区内を4つのエリアに区分し、ケース対応、巡回等を実施するとともに、介入ケースに対する支援の方向性や方法、内容等について組織的な検討を行い、効果的な介入を実施していく。

問い合わせ 教育支援館 電話：5246-5920

33 アスリートから学ぶ Let' s Enjoy スポーツ

予算額 1,081万円

背景

新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定されている。

目的

東京2020大会100日前イベントを実施することで、大会へ向けた機運醸成及び本区のスポーツ振興を図る。

事業概要・**スケジュール**

トップアスリートを招聘し、“ホンモノ”のスポーツの素晴らしさを感じてもらうとともに、体験できるオリンピック・パラリンピック競技種目を従前よりも増やす等、東京2020大会100日前イベントとして、内容を拡充して実施する。

- 日 時 令和3年4月29日（祝）
- 会 場 台東リバーサイドスポーツセンター
- 種目数 16種目程度
- 内 容
 - トップアスリートによるデモンストレーション
 - トップアスリートによるトークショー
 - オリンピック・パラリンピック競技種目の体験教室

問い合わせ スポーツ振興課 電話：5246-5830